



# 青柳小学校だより

【笑顔で登校 明日を楽しみに下校する 青柳小】

<笑顔が一番> 令和5年12月1日 第8号

草加市立青柳小学校 電話 048(931)0899

学校教育目標

あー明るく元気な子  
おー思いやりのある子  
やーやりとげる子  
ぎーきたえる子  
児童数 350名

## 自分の目でしっかりと見て判断する子

校長 須賀由美

街では「赤色」「緑色」が目立つようになりました。早いもので今日から12月。朝晩は冷え込むものの、日中の校庭には、明るく元気に縄跳びの練習をするやぎっ子の声か響いています。第2学期のまとめとなる今月も、友達と協力して、学習に運動にしっかりと取り組ませたいと強く思います。今月もよろしくお願ひいたします。

さて、過日10月30日には、本校の校章について「学びの会」を設けました。実は、長い間、本校の校章をデザインしてくださった方のお名前を、本校では間違えたまま今年度当初まで来ていたようでした。今年度着任早々その話を知りました。作成していただいた方に、どれ程のご心痛をおかけしてしまったのかと猛省するとともに、一日も早く正さねばと考えておりましたところ、先日、私どもの願ひが通じ、作成していただいた方を本校にお招きすることができました。そして、ゲストティーチャーとして子供たちの前で、校章に託した思いをお話いただきました。作成していただいた方は「高橋 富士善」さんという、市内中学校で美術の先生としてご活躍された私どもの大先輩でした。以下、高橋先生が子供たちに話された内容です。箇条書きにて掲載させていただきます。

- ・周囲の葉は6つの学年を表現し、柳の葉に囲まれた芯に青柳の青と小学校の小を入れている。
- ・柳の葉がつながっている所が凹んで見える→錯視（本当は凹んでいない）効果を取り入れた。
- ・錯視とは、見た物の色や形、動きが実際とは違って見えることをいう。
- ・いろいろな物を「正しく見る」には学校での学習が大切。学習とは、自分を磨くことである。  
→見た目で判断するのではなく、正しい判断ができるような子になってほしい。

当日は、青柳小学校の全校児童と教職員全員とで体育館にて高橋先生のお話を聞きました。デザインが大変素晴らしいというだけでなく、そこには、「青柳小学校に通う子供たちへの夢やメッセージが込められている」ことを全員で学びました。司会の運営委員の子はもちろん、全学年どの子も真剣に高橋先生の話聞いていました。そして、最後に代表児童が「高橋先生の校章に込められた願ひを直接聞くことができ嬉しかったです。先生のお話の中にあつた『ものを正しく見る力』を大切にしたいと思ひます。本当かどうか、ちゃんと判断できる力を身に付けられるようにしていきたいです。」と感想を堂々と言ってくれました。

私たちは毎日、胸に名札を着けて生活しています。そこには校章が刺繍されています。ぜひ今後も名札を正しく着け、「自分の目でしっかりと見て正しく判断する」というメッセージが込められたものに見守られて生活しているのだなと考えて生活していきましょう。保護者、地域の皆様方にも、この思いを共有していただき、輝かしい未来あるやぎっ子の健やかな成長のため、ご理解とご協力をいただきますようお願ひいたします。

今年一年、大変お世話になりました。少々、早いですが、どうぞ、よいお年をお迎えてください。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。